

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「りそなジャパンCSRファンド」は、このたび第29期の決算を行いました。当ファンドは主としてパインブリッジ・ジャパンCSRマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、わが国の株式に投資を行い、信託財産の積極的な成長を目指します。当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当期の状況

基準価額	(当期末)	9,683円
純資産総額	(当期末)	1,255百万円
騰落率	(当期)	2.7%
分配金合計	(当期)	20円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記＜お問い合わせ先＞ホームページの「基準価額一覧」または「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書

りそなジャパン CSRファンド ＜愛称：誠実の杜＞

追加型投信／国内／株式

第29期

(2019年3月16日～2019年9月17日)

第29期（決算日：2019年9月17日）



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

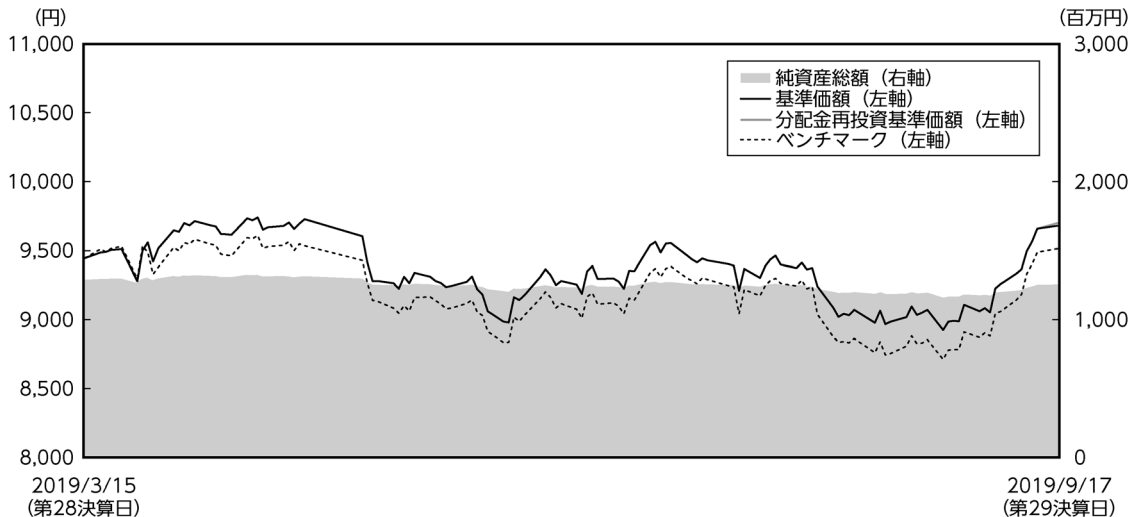
電話番号／03-5208-5858

(受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く）)

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年3月16日～2019年9月17日)

基準価額等の推移



第29期首 : 9,446円
 第29期末 : 9,683円
 (作成対象期間中の既払分配金 : 20円)
 騰落率 : 2.7% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。期首の基準価額をもとに指数化しています。
 ※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。
 ※ベンチマークは東証株価指数(TOPIX)です。期首の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

<リソナジャパンCSRファンド>

「パインブリッジ・ジャパンCSRマザーファンド」の基準価額が上昇した結果、当ファンドの基準価額は堅調に推移しました。

<マザーファンド>

家庭用ゲームの継続的なリリース等により収益改善が期待されるカプコン、抗がん剤の開発成功への期待により株価が上昇した第一三共、半導体製造における微細化、薄化、多層化の恩恵を受けて業績が堅調なディスコがプラスに寄与しました。一方でゲームのプラットフォームにおける競争激化が懸念されるソニー、ブラジル事業の改善が市場期待に届かなかった不二製油グループ本社、アルツハイマー関連治療剤の治験中止で株価が下落したエーザイがマイナスに寄与しました。

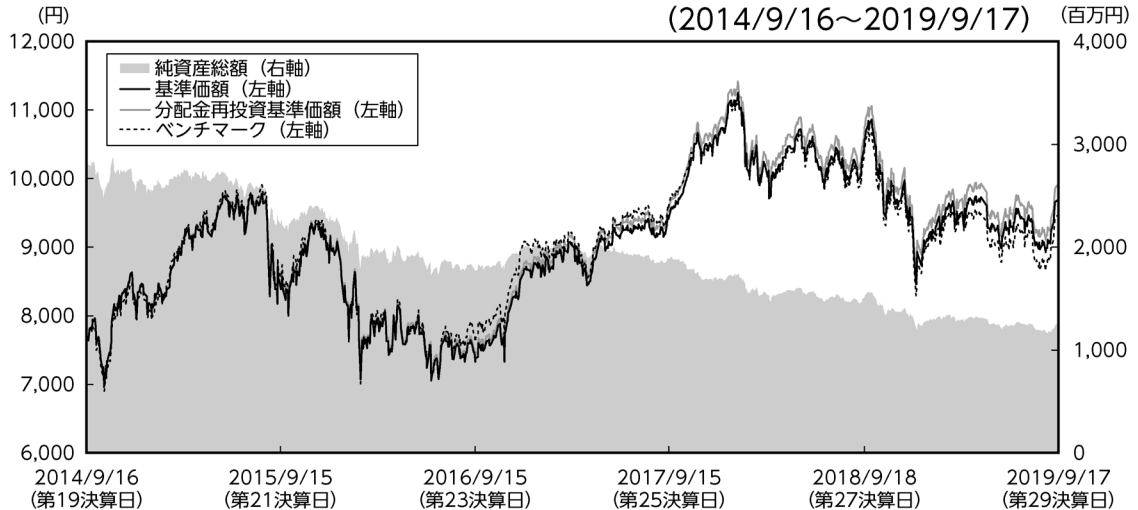
1万口当たりの費用明細

項 目	第29期 (2019.3.16~2019.9.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信託報酬	92円	0.988%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,355円です。
(投信会社)	(46)	(0.494)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(41)	(0.439)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(5)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	5	0.051	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(5)	(0.051)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	—	—	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
合 計	97円	1.039%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2014年9月16日の基準価額をもとに指数化しています。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※ベンチマークは東証株価指数（TOPIX/配当込み）です。2014年9月16日の基準価額をもとに指数化しています。

	2014/9/16 決算日	2015/9/15 決算日	2016/9/15 決算日	2017/9/15 決算日	2018/9/18 決算日	2019/9/17 決算日
基準価額 (円)	7,680	8,390	7,329	9,427	10,418	9,683
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	40	40	40	40	40
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	-	9.7	△12.2	29.2	10.9	△6.7
ベンチマークの騰落率 (%)	-	11.5	△11.0	26.0	7.4	△8.3
純資産総額 (百万円)	2,788	2,217	1,759	1,878	1,514	1,255

●ベンチマークに関して

ベンチマークの東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所が算出、公表する日本の代表的な株価指数で、東京証券取引所に上場されているすべての銘柄を、1968年1月4日を100として指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

投資環境について

米中貿易摩擦進展への期待や中国経済回復への期待から日本株式市場が堅調に推移する場面もありましたが、米国が中国やメキシコへ追加関税を発動するとの発表や日米金利差縮小による円高により企業業績の底入れ期待が低下したことから一進一退の動きになりました。

ポートフォリオについて

＜りそなジャパンCSRファンド＞

期を通じて「パインブリッジ・ジャパンCSRマザーファンド」への投資を高位に維持しました。

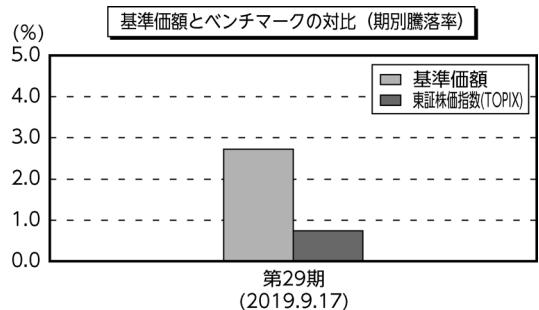
＜パインブリッジ・ジャパンCSRマザーファンド＞

景気悪化に対してディフェンシブな小売業、医薬品、陸運業のウエイトを引き上げました。一方世界的な自動車販売の伸び悩みの影響を受けるゴム製品、油価変動による業績への影響が大きい電気・ガス業、値下げ圧力の高まっている情報・通信業のウエイトを引き下げました。国内外の景気動向、為替レート、原油価格の動向等を注視しつつ、株価水準・業績見通しの変化に対応し銘柄を入れ替えました。セクター別では期中を通じて電気機器、小売業、その他金融業をオーバーウエイト、サービス業、化学、建設業をアンダーウエイトとしました。

ベンチマークとの差異について

当作成期中の基準価額は2.7%上昇し、ベンチマークの上昇率0.7%をおおむね2.0%上回りました。

セクター要因はプラスでした。オーバーウエイトの電気機器、情報・通信業、アンダーウエイトのガラス・土石製品がプラスに寄与し、アンダーウエイトのその他製品、オーバーウエイトのパルプ・紙、空運業のマイナスを上回りました。銘柄選択要因はプラスでした。医薬品、化学、機械の保有銘柄の上昇がプラスに寄与し、電気機器、輸送用機器、鉄鋼の保有銘柄の下落がマイナスに寄与しました。



分配金について

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準と市況動向を勘案して20円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

（単位：円・%、1万口当たり、税引前）

項目	第29期
	2019年3月16日～2019年9月17日
当期分配金	20
（対基準価額比率）	0.206
当期の収益	20
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	726

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の市況見通しと運用方針

今後の市況見通し

米中の関税の引上げや英国のEU（欧州連合）離脱など、世界景気の先行きに対する不透明感は依然として高いと考えます。中国では金融緩和や景気刺激策も伝えられており、景気後退のリスクは軽減されると見通しています。中長期的では、企業の増益基調の継続、収益性改善に対する経営姿勢や株主還元向上が株価を下支えすると見ていますが、米中貿易協議や英国のEU離脱が世界経済や株式市場および各国・地域の政策に与える影響を注視していきます。また、中東や北朝鮮などの地政学リスクの企業業績や株式市場に対する影響にも注意を払います。為替については、関税引き上げ発表後に円が対米国ドル、対ユーロで円高に振れる局面もあり、動向を注視します。日米金融当局の金融政策の変化も注視していきます。

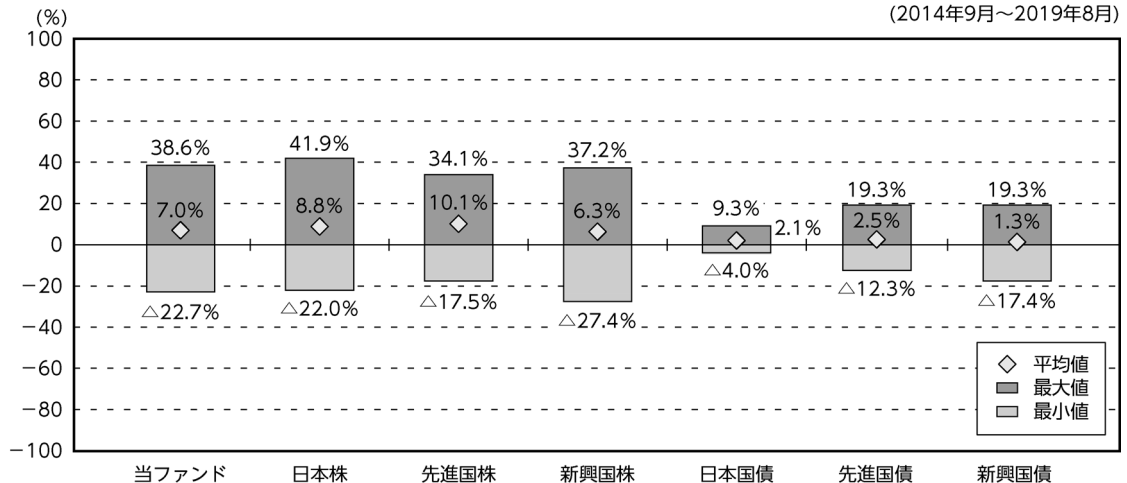
運用方針

CSRの秀でた企業は中長期的には高い業績パフォーマンスを達成するという考えに基づいた運用を続けます。個別銘柄の継続的なファンダメンタルズの調査・分析に基づいた投資判断により当ファンドの成長性を維持したいと考えています。CSR面では、個々の企業、事象毎に対応するとともに、企業のCSR活動を積極的な評価項目として捉え、総合的な判断を続けます。自社だけでなくサプライヤーに対してもCSR重視の経営を行うよう要請できているか、コーポレートガバナンスの強化体制の進捗状況などに注目しています。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間	原則として無期限です。	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・パインブリッジ・ジャパンCSRマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、わが国の株式に投資を行い、信託財産の積極的な成長を目指します。 ・東証株価指数（TOPIX）をベンチマークとし、これを上回る投資成果を目指して運用を行います。 ・銘柄の選定にあたっては、企業の社会的責任（CSR：Corporate Social Responsibility）の考え方を重視し、当社独自の銘柄選定基準にしたがって行います。 	
主要投資対象	りそなジャパンCSRファンド	マザーファンドを主要投資対象とします。
	マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	りそなジャパンCSRファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資は行いません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資は行いません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎年2回の決算時（原則として3月、9月の各15日）に、決算を行い、配当等収益および売買益を中心に、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

<参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年9月～2019年8月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

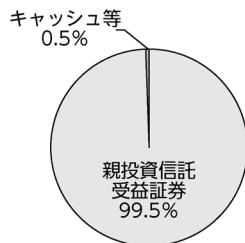
当ファンドの組入資産の内容（2019年9月17日現在）

●組入銘柄 (組入銘柄数：1銘柄)

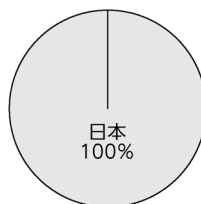
銘柄名	比率(%)
パインブリッジ・ジャパンCSRマザーファンド	99.5

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

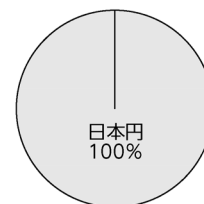
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

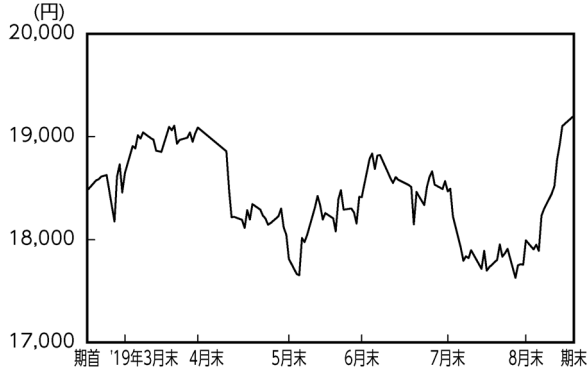
項目	第29期末
	2019年9月17日
純資産総額	1,255,220,957円
受益権総口数	1,296,302,985口
1万口当たり基準価額	9,683円

※当期間（第29期）中における追加設定元本額は1,546,141円、同解約元本額は69,892,540円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ・ジャパンC S R マザーファンドの組入資産の内容 (2019年9月17日現在)

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料	9円
(株式)	(9)
合計	9円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書(全体版)をご参照ください。

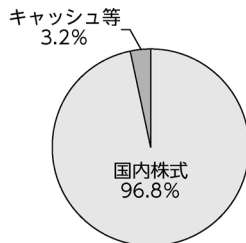
●組入上位銘柄

(組入銘柄数：72銘柄)

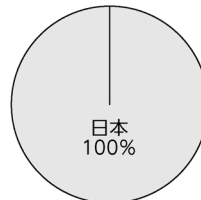
銘柄名	業種	比率(%)
トヨタ自動車	輸送用機器	4.0
キーエンス	電気機器	2.6
日立製作所	電気機器	2.4
日本電信電話	情報・通信業	2.4
日本電産	電気機器	2.2
ソフトバンクグループ	情報・通信業	2.1
アサヒグループホールディングス	食料品	2.0
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.0
横河電機	電気機器	2.0
伊藤忠商事	卸売業	1.9

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

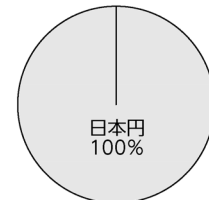
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。